

家族防災会議

～防災について家族で話し合いましょう～

災害はいつ発生するかわかりません。家族がそろっていないときに起こる可能性もあります。今後も予想される災害被害を予防し、最小限におさえるため、日頃から災害へ備えるとともに、発生時の避難行動や連絡方法などについて家族で話し合い確認しましょう。

☎危機管理室(☎826-1111 内線2009)

□ 役割分担を決めよう

緊急連絡係や火元の管理、非常持ち出し品係などの災害が起きたときの役割を決めておきましょう。また、お子さんの迎えや高齢者などを支援する担当など、各家庭の実状に合わせた役割も決めておきましょう。

□ 避難場所や避難経路を確認しよう

あらかじめ、ハザードマップなどで、避難場所や避難経路を家族で確認しておきましょう。また、避難場所は2種類あります。その違いについても確認しましょう。

■ 指定緊急避難場所

災害が発生した場合、またはその恐れがあるときに、危険から一時的に身を守るための場所

■ 指定避難所

避難した方や、災害により家に戻れなくなった方が、一定期間滞在するための施設(備蓄品あり)

※災害の種別や状況により、利用できる避難場所が異なることや開設できない場合があります。

□ 防災用備蓄品の確認をしよう

非常食の準備は3日分が目安とされています。各家庭の実状に合わせた備蓄品を玄関や寝室などのすぐに持ち出せる場所に備えておきましょう。

■ 飲料水

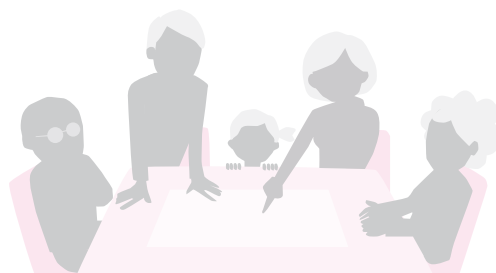
1人当たり3リットル/日が備蓄の目安です。

■ 食料

乾パンやビスケットなど、火を使わず食べられ、日持ちするものを選びましょう。

■ その他

カセットコンロやボンベ、懐中電灯、モバイルバッテリー、生理用品など



□ 緊急時の連絡方法を確認しよう

外出中など家族がはなればなれのときに被災した場合の連絡方法を、事前に決めておくことが必要です。回線が混み合っても使用できる「災害用伝言ダイヤル」の活用方法を覚えましょう。

■ 災害用伝言ダイヤルの使い方

録音

- ①「171」にダイヤルする
- ②「1」(登録)を選ぶ
- ③電話番号を登録する
- ④メッセージを録音する



再生

- ①「171」にダイヤルする
- ②「2」(再生)を選ぶ
- ③電話番号をダイヤルする
- ④メッセージを再生する

□ 情報の入手方法の確認と準備をしよう

市はテレビ(NHKデータ放送)、ラジオ、市ホームページ、緊急速報エリアメールのほか、下記の方法で災害の情報を発信します。

■ 防災行政無線

市内215箇所に設置した屋外スピーカーから災害の情報を放送します。放送内容が聞こえにくい家庭には戸別受信機を無償配布しています。

■ 安心・安全情報メール

災害の情報を事前登録したメールアドレスに配信します。



■ ツイッター

市公式アカウント(@tsuchiura_city)で災害の情報をツイートします。

■ ヤフー防災アプリ

スマートフォンにアプリをインストールすることで、気象情報や災害情報を入手できます。

